

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81100 消防本部運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	1	常備消防費		根拠計画	消防計画		
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部の運営、関係機関との連絡・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 高機能消防指令システムの保守点検 県の防災ヘリコプターの飛騨地域常駐のための関係機関との打合せ、県への要望
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
「消防・救急体制が整っている」と感じている市民の割合	(H26) 83.3%	85.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		50,635	48,541	72,999	72,999	70,941	22,400
特定財源	国費 (主要国首脳会議開催消防・救急体制整備費10/10)	0	0	0	0	233	233
	県費 (県移譲事務交付金)	0	18	518	518	761	743
	その他(消防手数料、白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金等)	8,765	10,545	11,701	11,701	12,343	1,798
一般財源		41,870	37,978	60,780	60,780	57,604	19,626
個票枝番	主な事業内容						
	消防本部の運営に関する事業	50,635	48,541	72,999	72,999	70,941	22,400
	緊急通報の多言語対応化(消防多言語通訳コールセンター)	0	0	0	0	0	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
122,455	114,584	114,584	41,585
0	0	0	0
579	732	732	214
14,376	15,581	15,581	3,880
107,500	98,271	98,271	37,491
査定額	説明		
113,984	デジタル無線等保守点検委託料、白川村派遣職員受入負担金等		
600	英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語の5ヶ国語対応		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防署等施設及び通信指令装置等の維持管理 防災ヘリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望 火災出動 21件、救助出動 3,927件 ・救助出動 44件(平成27年中)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設・整備の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システム・消防救急デジタル無線システムを更新し、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムの適切な保守管理。 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 伊勢志摩サミットにおける消防特別警戒態勢業務遂行のため、消防職員2名を現地へ派遣 消防署等施設及び通信指令装置等の維持管理 防災ヘリコプターの飛騨地域常駐化に向けた県への継続要望 火災出動 27件、救助出動 3,985件 ・救助出動 56件(平成28年中)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設・整備の適正な維持管理、関係機関との連携強化により、消防体制の充実が図られた。 高機能消防指令システムの効率的な運用により、119番通報に対する迅速・的確な対応が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 高機能消防指令システムの適切な保守管理。 救急・消防隊の適切な運用により、市民の安全安心を確保する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・高機能消防指令システムによる消防体制の充実
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81110 消防署運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	1	常備消防費		根拠計画	消防計画		
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え、機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(白川出張所は白川村から消防事務を受託)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		28,386	25,559	28,893	28,893	24,129	△ 1,430
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入・消防施設等使用料)	2,354	2,190	2,176	2,176	2,156	△ 34
一般財源		26,032	23,369	26,717	26,717	21,973	△ 1,396
個票枝番	主な事業内容						
	消防署維持管理(8署所)に関する事業	28,386	25,559	28,893	28,893	24,129	△ 1,430

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		29,300
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
28,329	27,253	27,253		△ 1,640
2,059	2,057	2,057		△ 119
26,270	25,196	25,196		△ 1,521
査定額	説明			
27,253				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理の実施 ・各署所の施設修繕(電話設備、空調設備、熱感知器等)
評価等	・施設・整備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・消防庁舎(本署1、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理の実施 ・各署所の施設修繕(ボイラー室真空ポンプ、非常用発電機電池交換、水道設備漏水等)
評価等	・施設・整備の適正な維持管理により、消防体制の充実が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・各署所における施設や設備の不具合を早期に発見し、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋げる。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・消防署(分署・出張所を含む)の維持管理費
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81120 予防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	1	予防体制の充実	
			目	1	常備消防費		根拠計画	消防計画		
担当課	消防本部 予防課	内線	2118							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活の安全を守るため、火災予防対策や啓発活動の実施などにより、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	・防火対象物や危険物施設等の立入検査や講習会等を実施する。 ・火災予防運動や住宅防火対策等の啓発活動を実施する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
高齢者宅防火訪問件数(数値はH27年からの累積)	698件	1,619件	4,300件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,030	970	1,030	1,030	1,001	31
特定財源	国費()						
	県費(県権限移譲交付金)	859	970	1,030	1,030	1,001	31
	その他(諸手数料)	171					
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	火災予防対策に関する事業	1,030	970	1,030	1,030	1,001	31

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,030
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
1,334	1,030	1,030	0	0
1,334	1,030	1,030	0	0
0	0	0	0	0
査定額	説明			
1,030	火災予防事務、各種研修、防火思想に関する知識の普及事業費などの補助金等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正(立入検査:目標800件、実施:806件) ・防火管理講習の企画運営・受講促進(甲種防火管理新規講習:開催2回、目標100名、受講117名 甲種防火管理再講習受講:開催1回、21名) ・春季・秋季火災予防運動及び文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画作成・実施(火災予防運動:保育園児による火災予防啓発活動2回、対象物との合同訓練20件 文化財防火デー:合同訓練10件 危険物安全週間:立入検査240施設) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等の実施(住宅用火災警報器設置率:97% 個別訪問指導:329件実施) ・危険物安全協会や飛騨火災事故防止協議会による事業への参画(危険物取扱者保安講習2回 危険物取扱者試験学習会1回 飛火協バトロー2回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・製品火災の原因判定など、複雑化する火災調査に対応するため、調査員の知識、技術の向上を図る必要がある。 ・火災の予防に関する高度な知識及び技術を有するものとして消防庁長官が定める資格を有する予防技術資格者を養成し、署所配置の充実を図る必要がある。 ・県からの権限移譲事務について、専門的な知識、技術の習得や計画的な研修受講等により業務体制の充実を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災調査員及び予防担当者の外部及び内部研修を継続し、知識及び技術の向上を図る。 ・予防技術資格者を養成、署所に適正配置し有効活用を図る。 ・住宅用火災警報器設置対策実行計画に基づき、設置促進、維持管理の啓発など防火意識の高揚を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査年度計画の作成・実施・違反是正、未把握防火対象物の実態把握・立入検査・違反是正(立入検査:目標800件、実施846件 特定防火対象物の重大違反17件中9件是正) ・防火管理講習の企画運営・受講促進(甲種防火管理新規講習:開催2回、目標100名、受講108名 甲種防火管理再講習受講:開催1回、20名) ・春季・秋季火災予防運動、文化財防火デー、危険物安全週間に伴う実施計画作成・実施(火災予防運動:保育園児による火災予防啓発活動2回、対象物との合同訓練12件 文化財防火デー:合同訓練9件 危険物安全週間:立入検査218施設) ・住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報・個別訪問等の実施(住宅用火災警報器設置率:96% 個別訪問指導:463件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査は目標値を上回っている。違反是正も重大違反の過半を是正させているが、未是正が8件あることから、更なる指導が必要である。 ・防火管理講習は目標値以上の受講者があることから、防火管理者未選任違反の減少が図られる。 ・各予防運動等における実施計画の内容は達成できている。 ・住宅用火災警報器の設置は全国でも高い設置率であるが、維持管理の啓発等さらなる防火意識の高揚を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・立入査察、各予防運動及び防火管理講習等は目標値を上回っていることから次年度以降も継続する。 ・複雑多様化する火災の原因調査に対応するため、調査員の知識・技術の向上を図る。 ・住宅用火災警報器の設置は全国でも高い設置率であるが、維持管理の啓発等さらなる防火意識の高揚を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防の啓発等に要する経費を計上 ・許認可事務等に要する経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81130 警防事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	1	常備消防費		根拠計画	消防計画		
担当課	高山消防署 警防課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防車両、消防資器材、救助資器材等について、常に最適(良)な状態を維持し、災害時に確実に使用できるようにする。 緊急消防援助隊岐阜県大隊としての訓練、近隣消防本部との連携訓練、警察及び防災航空隊等との訓練を実施し、災害時の現場対応力を強化する。 保有する消防力(人、車両、装備、資器材)を最大限に活用し、災害発生時において被害を最小限に食い止める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 各小隊活動のスキルアップを図り、複数小隊連携訓練の実施によって現場対応力を強化する。 広域災害に対応するための近隣消防本部との連携訓練、緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練の実施により連携強化を図る。 各種消防車両、装備、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、安全かつ確実な現場活動を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
関係機関との合同訓練回数(年間)	33回	48回	50回

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		15,210	13,924	15,260	15,260	14,029	105
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入)	820	762	820	820	816	54
一般財源		14,390	13,162	14,440	14,440	13,213	51
個票枝番	主な事業内容						
	警防に関する事業	15,210	13,924	15,260	15,260	14,029	105

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		16,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
15,479	14,910	14,910	△ 350	
1,110	820	820	0	
14,369	14,090	14,090	△ 350	
査定額	説明			
14,910	消防車両維持管理(41台)、救助用消耗品、資器材点検手数料等			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベについては、6本の耐圧検査を実施し、必要な空気ボンベ数を確保した。 消防車両21台の車検整備等を実施し、安全な車両運行及び火災現場等における確実な防護活動を実施した。 緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災航空隊等との訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 必要とされる消防資器材の見直しや集中管理による不具合の早期発見、効率的な運用等を進め、修繕費等の抑制に繋がった。 各小隊活動の強化と、複数小隊の効果的な連携活動及び効果的な指揮運用を図り、災害の早期終息と被害の軽減に繋がった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 現場活動の指揮力を強化することにより、災害現場における安全管理の徹底と、効果的な現場活動を実現させ、災害の早期終息及び被害の軽減に繋げる。 消防車両及び消防資器材の確実な点検、整備による不具合の早期発見に努め、修繕費等の抑制に繋げる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空気呼吸器用ボンベについては、19本の耐圧検査を実施し、必要な空気ボンベ数を確保した。 消防車両16台の車検整備等を実施し、安全な車両運行及び火災現場等における確実な防護活動を実施した。 緊急消防援助隊岐阜県大隊訓練、警察及び県警山岳警備隊、防災航空隊等との訓練を実施し、連携強化を図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保有する車両、資器材の維持管理、不具合の早期発見により、大規模な修繕費等の発生は抑制できた。 近隣消防本部や警察、緊急消防援助隊などとの訓練実施により、現場活動の連携強化と現場対応力の強化を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の老朽化による突発的な修繕への対応が増加する傾向であり、不具合の早期発見に努め災害時に確実に運用できるよう整備する。 発生が危惧される特殊災害等に対応できるよう、隊員のスキルアップを図り、小隊活動レベルの向上と現場対応力の更なる強化を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救助用資器材の整備 消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の車検整備の他、突発的修繕への対応
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81140 救急事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念します。
			款	8	消防費		個別分野	9	消防		
			項	1	消防費		施策概要	4	救急体制の充実		
			目	1	常備消防費		根拠計画	消防計画			
担当課	高山消防署 救急課	内線	2117								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。 救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい、応急手当の実施率の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の有資格者の養成及び病院実習を実施する。 市民に対して広く救命講習の受講の場を提供する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
救命講習修了証所有者数	6,196人	6,135人	6,500人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		7,744	6,937	8,834	8,834	7,894	957
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(白川村受託事業収入、高速救急業務支弁金)	7,744	6,937	8,834	8,834	7,894	957
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	救急に関する事業	7,744	6,937	8,834	8,834	7,894	957

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		7,700
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
10,411	7,787	7,787		△ 1,047
10,411	7,787	7,787		△ 1,047
0	0	0		0
査定額	説明			
7,787	薬剤投与・気管挿管研修、病院実習謝礼、医薬材料費等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 救急現場で実働が可能な新任救急救命士2名を養成した。 薬剤認定救命士2名を養成した。 新処置認定救命士3名を養成した。 公募による普通救命講習会を3回開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を314回開催し、合計5,030人が救命講習を受講した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、気管挿管認定救命士、新処置認定救命士を育成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、気管挿管認定救命士、新処置認定救命士を育成する。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育を実施した。 救急現場で実働が可能な新任救急救命士3名を養成した。 薬剤認定救命士2名を養成した。 気管挿管認定救命士1名を養成した。 新処置認定救命士3名を養成した。 公募による普通救命講習会を3回開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習を299回開催し、合計5,365人が救命講習を受講した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、気管挿管認定救命士、新処置認定救命士を育成する必要がある。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育(病院実習を含む生涯教育)の充実と薬剤認定救命士、気管挿管認定救命士、新処置認定救命士を育成する。 救命講習を広く市民が受講できるよう開催する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 救急救命士の再教育履修、必修ポイントの取得(病院実習、研修) 救急救命士の認定資格の取得(病院実習、研修) 医療機器消耗品(除細動バッテリー、ケーブル)の計画的更新
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81200 消防団運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	3	消防団の充実	
			目	2	消防団費		根拠計画	消防計画		
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・火災をはじめとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務が、迅速かつ的確に遂行できる体制づくりに努め、市域における災害等の被害軽減による市民の安全、安心の確保を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の任免 ・報酬、手当等の支給 ・消防団行事等の企画、運営 ・消防団員への各種表彰の具申等 ・消防団施設・資機材等の維持管理 ・消防団員の入団促進、確保対策の取組み(H29～)
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		253,382	242,806	242,831	242,831	241,196	△ 1,610
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(退職報奨金、公務災害補償費、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	25,400	28,465	25,400	25,400	28,926	461
一般財源		227,982	214,341	217,431	217,431	212,270	△ 2,071
個票枝番	主な事業内容						
	消防団の運営に関する事業	253,382	242,806	242,831	242,831	241,196	△ 1,610
	消防団入団促進	0	0	0	0	0	0

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		280,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
281,470	282,865	282,865		40,034
55,409	56,600	56,600		31,200
226,061	226,265	226,265		8,834
査定額	説明			
281,695	消防団員報酬、退職報償金、出動手当等			
1,170	消防団映像制作、意識調査、フォトコンテスト			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防、各種災害発生時における広報活動 ・花火大会等、各種イベントにおける警備活動 ・消防団組織等検討委員会を開催し、組織、団員定数、災害活動団員の採用等について協議し組織の活性化を図る。 ・消防団応援事業所制度の加入事業所の拡大(登録数84件) ・消防団協力事業所表示制度の導入及び認定事業所の拡大(認定事業所数59件) ・消防団員数 1,858人
評価等	・地域や支団に対し説明や協議を行い、組織の再編を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の再編を進め、必要な消防力を明らかにし消防団員の適正数について検討していく。 ・消防団協力事業所表示制度や消防団応援事業所制度の認定・登録事業所を拡充し、消防団員の入団促進や活動環境改善を図る。 ・県の消防団加入促進事業等を有効活用し、団員募集を推進する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防、各種災害時における広報活動 ・花火大会等、各種イベントにおける警備活動 ・消防団組織等検討委員会を開催し、組織、団員定数、災害活動団員の採用等について協議し、組織の活性化を図る。 ・消防団応援事業所制度の加入事業所の拡大(登録数95件(累計)) ・消防団協力事業所表示制度の認定事業所の拡大(認定事業数170件(累計)) ・消防団員数 1,874人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の入団促進、確保の取組みについて方策を決定した。 ・必要な消防力の検証を行うとともに、班、分団の再編を着実に推進する必要がある。 ・消防団員を雇用する事業所等を支援することなどにより、団員の活動環境の改善を図り、団員確保に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の再編を進め、必要な消防力を明らかにし消防団員の適正数について検討していく。 ・消防団員の入団促進、確保の取組みから、課題を抽出し、団員確保を図る。 ・消防団協力事業所表示制度の認定数や消防団応援事業所の登録事業数の拡大を図り、消防団員の入団促進や活動環境の改善を図る。

施策の実施方針	・消防団員の入団促進策を検討すること
担当課予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・団員が安全、有効に活動できるための施設、車両、装備等の維持管理 ・消防団員の福利厚生事業
財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容の精査 ・消防団入団促進策の計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81300 消防施設整備事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	5 基盤・安全	市長公約
			款	8 消防費		個別分野	9 消防	
			項	1 消防費		施策概要	2 消防体制の充実	
			目	3 消防施設費		根拠計画	消防計画・消防団車庫整備計画	
担当課	消防本部 消防総務課	内線	2119					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全・安心の確保を図る。	概要	・消防団車庫を計画的に整備する。 ・消防署施設を計画的に修繕整備する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		600,296	599,380	5,000	7,000	6,957	△ 592,423
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(消防救急デジタル無線等整備事業白川村負担金)	0	108,982	0	0	0	△ 108,982
一般財源		600,296	490,398	5,000	7,000	6,957	△ 483,441
個票枝番	主な事業内容						
	団車庫改修・撤去等	3,500	3,348	2,000	4,000	4,581	1,233
	消防無線(アナログ)撤去		0	3,000	3,000	2,376	2,376
	消防救急デジタル無線システム・高機能消防指令システム整備	589,336	589,336	0	0	0	△ 589,336

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		15,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
13,289	7,000	7,000	2,000	
0	0	0	0	0
13,289	7,000	7,000	2,000	
査定額	説明			
7,000	団車庫改修・撤去等(一之宮・久々野)			
0				
0				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・消防団車庫修繕工事2ヶ所(荘川支団(六蔵)、高根支団(上ヶ洞)) ・大野分署 訓練塔登攀板改修工事 ・消防救急デジタル無線等整備
評価等	・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。 ・建築年度だけでなく、現地調査により破損・老朽化状況を把握し、修繕・長寿命化を中心とした整備を進める必要がある。 ・他施設との併用等を図り、コスト削減に向けて、地元消防団、町内との協議及び調整を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・消防団車庫3か所の整備(荘川支団(上野々俣)、一之宮支団(寺) 国府支団(宮地)) ・消防団車庫整備計画の一部見直し

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・消防団車庫整備・解体4か所(荘川支団(上野々俣)、一之宮支団(寺)、国府支団(宮地、鶴巢)、高山支団(陣屋)) ・消防団車庫整備計画の一部見直し
評価等	・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。 ・建築年度だけでなく、現地調査により破損・老朽化状況を把握し、修繕・長寿命化を中心とした整備を進める必要がある。 ・他施設との併用等を図り、コスト削減に向けて、地元消防団、町内との協議及び調整を図る必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・消防団車庫2か所の整備(久々野支団(橋場)、一之宮班(駅前)) ・整備方針に基づき計画的に施設の整備を進める必要がある。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・老朽化した消防団車庫の整備 ・高山消防署にある非常用電源装置の更新
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81310 消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	3	消防施設費		根拠計画	消防計画・消防車両整備計画・消防団車両整備計画		
担当課	消防本部 消防総務課・警防課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防車両(署・団)を適正に配置し、老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させ、市民の安全・安心を確保する。	概要	・消防車両整備計画、消防団車両整備計画により、計画的に更新整備する
----	---	----	-----------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		121,500	120,132	70,000	69,408	68,565	△ 51,567
特定財源	国費(消防施設等整備事業費1/2)	12,400	12,085	0	0	0	△ 12,085
	県費						
	その他(地方債、白川村受託事業収入)	0	0	37,000	36,900	35,557	35,557
一般財源		109,100	108,047	33,000	32,508	33,008	△ 75,039
個票枝番	主な事業内容						
	高規格救急自動車更新	20,500	19,994	20,500	20,500	19,829	△ 165
	救急車積載用高度救命資器材更新	10,500	9,860	10,500	9,908	9,828	△ 32
	消防団車両更新	45,500	45,425	39,000	39,000	38,908	△ 6,517
	はしご車分解整備修繕	0	0	0	0	0	0

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	110,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
130,874	111,000	111,000	41,000
12,265	12,400	12,400	12,400
0	18,000	18,000	△ 19,000
118,609	80,600	80,600	47,600
査定額	説明		
20,500	高規格救急車1台の更新整備(荘川)		
10,500	高規格救急車に積載する高度救命処置資器材一式(荘川)		
49,000	消防ポンプ車2台、可搬ポンプ積載車2台の更新整備		
31,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両については、高山支団(漆垣内班)、上宝支団(蔵柱班)に消防ポンプ車CD-1型2台を更新配備し、荘川支団(下野々俣班)、国府支団(糠塚班)の可搬積載車2台を更新配備した。 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し、上宝分署に配備した。 高規格救急自動車1台を更新し、上宝分署に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持管理していかなければならない。 老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。 上宝分署に配備した高規格救急車は、緊急消防援助隊救急小隊として増隊登録した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 車両整備計画に基づき、計画的な更新整備を図り適正に維持管理する。 消防団車両整備については、分団・班の再編状況を踏まえ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両については、高山支団(空町班)、丹生川支団(白井班)に消防ポンプ車CD-1型2台を更新配備し、清見支団(大原班)の可搬積載車1台を更新配備した。 高規格救急自動車を1台更新し、白川出張所に配備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に消防車両等の更新を進め、必要な消防車両等を適切に維持管理していかなければならない。 老朽化した車両を更新整備することにより消防活動の安全と災害時の対応能力を向上させることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 車両整備計画に基づき、計画的な更新整備を図り適正に維持管理する。 消防団車両整備については、分団・班の再編状況を踏まえ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> はしご車の分解整備修繕 高規格救急車の更新(荘川出張所) 消防団ポンプ自動車2台、積載車2台の更新
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81320 消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	3	消防施設費		根拠計画	消防計画、耐震性貯水槽整備計画		
担当課	高山消防署 防災課	内線	2117							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所等における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防水利の充実と地域の防災力強化を図る。 既存の消防水利を適切に維持管理することで、効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき、耐震性貯水槽を整備する 損傷、老朽化が見られる消防水利の改修、修繕 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
耐震性貯水槽整備	0基	2基	2基

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		14,740	14,480	29,000	29,000	28,156	13,676
特定財源	国費(消防防災施設等整備費(1/2))			5,386	5,386	5,365	5,365
	県費						
	その他(コミュニティ助成金)	1,900	1,900	0	0	0	△1,900
一般財源		12,840	12,580	23,614	23,614	22,791	10,211
個票枝番	主な事業内容						
	耐震性貯水槽更新	0	0	17,000	17,000	16,306	16,306
	自主防災組織小型動力ポンプ購入	1,940	1,922	0	0	0	△1,922
	水利施設等維持管理等	12,800	12,558	12,000	12,000	11,850	△708

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		30,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
32,257	28,020	28,020	△980	
5,386	5,386	5,386	0	
0	0	0	0	
26,871	22,634	22,634	△980	
査定額	説明			
16,000				
1,900				
7,270	漏水躯体等修繕、汚泥処理、消火栓地上化工事負担金等			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽設置予定町内への小型動力ポンプ配備 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を修繕(7基) 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持)(2基)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 小型動力ポンプを購入して耐震性貯水槽設置予定町内へ配備することで、自主防災組織の防災意識の向上を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができる。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき、引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利を適正に維持管理する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき既存防火水槽から耐震性貯水槽への更新(2基、高山、一之宮) 防火水槽の漏水、水槽本体及びフェンス等の破損を修繕(4基) 防火水槽の清掃(土砂除去等による環境改善と水量維持)(2基)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 非耐震性の防火水槽を耐震性貯水槽に更新することで、消防体制の充実と地域の防災力強化を図ることができた。 消防水利を適正に維持管理することで、災害による被害を軽減することができる。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽整備計画に基づき、引き続き老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新し、震災時にも使用可能な消防水利を確保する。 コスト削減を図りながら、消防水利を適正に維持管理する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な耐震性貯水槽の整備 消火栓の機能保全と適正配置
財務部 査定の考え方	積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約
			款	8	消防費		個別分野	9	消防	
			項	1	消防費		施策概要	2	消防体制の充実	
			目	3	消防施設費		根拠計画	消防計画・消防資器材整備計画		
担当課	消防総務課・警防課・防災課・救急課	内線	2119							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材及び初期消火資器材については、経年等により劣化した資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。 自主防災組織の育成、組織の強化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に資器材を整備し、有効活用することで、総合的な消防力の向上を図る。 初期消火資器材の更新及び修繕 自主防災組織の訓練指導
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			増減(b)-(a)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	
		5,700	5,154	27,200	27,792	27,784	22,630
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(消防設備基金繰入金、消防団員安全装備品整備等助成金)	29	18	5,892	5,892	7,142	7,124
一般財源		5,671	5,136	21,308	21,900	20,642	15,506
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	消防団用防火衣、雨衣の購入	0	0	17,800	17,800	17,474	17,474
	消防資器材整備に関する事業	57,700	5,154	9,400	9,990	10,308	5,154
	消防団装備品(無線機ほか)						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		13,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
24,257	13,000	18,200	△ 9,000	
1,012	0	0	△ 5,892	
23,245	13,000	18,200	△ 3,108	
査定額	説明			
10,300	常備消防用防火衣・消防用ホース・空気ボンベ・格納箱等			
7,900				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。 初期消火資器材格納箱12基、ホース55本を更新整備した。 消防ホース(常備、団)49本を更新整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数のある資器材について、計画的に更新整備を図り、消防活動の充実・強化する必要がある。 自主防災組織の隊長固定化を促進し、継続的な地域防災力の向上を図る必要がある。 自主防災組織に貸与している老朽化した初期消火資器材の適切な更新を継続する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材の適切な更新と整備を図り、さらなる消防力の充実を図る。 整備した資器材を適正に配置し、効率的に活用することにより、総合的な現場対応力の強化を図る。 自主防災組織の重要性と隊長の固定化の効果を伝え、組織の充実を図る。 自主防災組織の実情に応じた訓練内容を提案し、訓練実施率の向上と内容の充実を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防上下式防火衣8着を更新整備した。 空気呼吸器用ボンベ19本更新整備した。 初期消火資器材について、格納箱16基、ホース62本を更新整備した。 消防ホース(常備、団)77本を更新整備した。 消防団員用防火衣220着、団員の雨衣1,820着を整備した。 消防団分団旗、分水器等の装備品を整備した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 消防資器材を計画的に更新し、消防活動の安全を確保し、現場対応力の充実強化が図られた。 老朽化した初期消火資器材を更新し、自主防災組織の活動の安全を確保することに繋がった。 消防団員への安全装備品の整備により、団員の安全管理及び、現場対応力の強化を図られた。 消防団装備品については、経年劣化等による資器材等の更新により、活動環境の向上を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 更新整備した資器材を適切に配置し、有効活用することにより総合的な消防力の向上を図る。 老朽化した初期消火資器材の適切な更新を進め、自主防災組織による活動の安全を確保する。 消防団の安全装備品については、団からの要望も踏まえ、適切な整備を図る。 消防団装備品(資器材)については、火災だけではなく地震、風水害等のあらゆる災害に対応可能な資器材の整備の検討が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・消防資器材の計画的な整備による消防防火体制の向上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・消防団装備品購入に要する経費を増額

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	81330 消防資器材整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	消防本部消防総務課
枝番・内容	1 消防団防火衣・雨衣の購入		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	8	消防費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	消防費	内線		2119
		<input type="checkbox"/>		目		3	消防施設費	作成年月		H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・消防団員の安全装備品を整備し、団員の活動環境や安全管理の向上を図る。	概要	・防火衣(防火服)の整備(220着) ・雨衣の整備(1,820着)
----	-------------------------------------	----	--------------------------------------

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	17,800
主な経費	・防火衣購入	4,000
	・雨衣購入	13,800
対前年度増減額(当初予算)		17,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	17,800
	繰越	0
	補正等	
	最終	17,800
決算額		17,474
対前年度増減額(決算)		17,474

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 17,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員安全装備品の整備 ・防火衣購入 220着 ・雨衣購入 1,820着 	
<p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月～6月 仕様及び設計実施 ・平成28年8月～12月 納品検収及び各班、団員へ配付 	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員安全装備品の整備 ・防火衣購入 220着 ・雨衣購入 1,820着 ・事業費の一部について、消防団公務災害補償等共済基金が行う平成28年度消防団安全装備品整備等助成事業の財源を活用した。(助成金額1,250千円) <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災防御活動時や各種災害時及び防寒対策など、団員の活動環境や安全管理の向上を図ることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団からの要望を踏まえ、団員の安全装備品の整備を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[スケジュール]	